

介護職、保育士 掘り起こしへ

秋田市
県など就職フェア

高齢者や障害者の福祉施設、保育園への就職希望者を対象にした説明会「福祉・介護・保育のしごとフェア」が18日、秋田市の秋田ビューホテルで開かれた。社会人や学生ら約60人が参加し、採用担当者らと面談した。県や秋田労働局、県社会福祉協議会の主催。

45事業所がブースを設け、



採用担当者らが事業内容や待遇について説明。来場者は職場の雰囲気や福利厚生面につ

いて熱心に質問していた。横手市の社会福祉法人ファミリーケアサービスで採用担当をしている佐藤公法さん(44)は「ここ2、3年は人材を確保するのが難しい状況。高齢化が進む中、介護職は人手が必要だ。意欲のある人を採用したい」と語った。

介護職に就いた経験のある秋田市広面の主婦千田真澄さん(41)は面談後「約10年のブランクがあるので不安だが、説明を受けて働きたいという仕事だと感じた。職場のチームワークがどうなっているかなど見学してみたい」と話していた。

秋田労働局によると、福祉関連の1月の有効求人倍率(常用)は3・05倍と高水準で人手不足が深刻。県社福協は「フェア以外にも、高齢者

採用担当者らの説明に聞き入る来場者

の活用や、潜在する介護福祉士の掘り起こしなどに努めた」とした。

(藤岡真希)